

時間割コード	G2B65128	開講年度	2026				
授業題目	環境と暮らしを考えるゼミ					担当教員	矢原 ひかり
英文授業名	Seminar on Exploring the Implications of Our Lifestyle for the Environment						
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	月曜・2時限	対象学生	全
講義室	共通教育 2 5 講義室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	大学DP 的確に情報を収集し、理解し、発信する力				・自分の暮らしと環境問題の関わりについて理解し、具体的に説明することができるようになる。 ・環境問題の解決に対する自分の役割について、自分の考えを含めて説明することができるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生						
(3)全学横断特別教育プログラム	環境マインド実践人材養成コース						
(4)授業の概要	このゼミでは、暮らしがもたらす環境負荷を見つめ直す演習や探究を通じて、環境問題を自分事として考えます。後半では、自治体・大学・企業などの取組を調査し、学生の視点から信州大学のエコキャンパス実現に向けた企画を行います。						
(5)授業のキーワード	環境マインド、環境問題、環境保全、地球温暖化、カーボンニュートラル、循環型社会、サーキュラーエコノミー、ネイチャーポジティブ、持続可能な開発目標（SDGs）、地域循環共生圏、グループワーク						
(6)授業計画	1．ガイダンス 2．環境問題とは 3～6．暮らしと環境問題 7～10．環境保全に関する社会の取組 11～13．信大エコキャンパス企画を作ろう 14．企画発表 15．企画発表、まとめ、授業アンケート 主にグループワークを中心に授業を進めます。 進行具合により授業計画が変更になる可能性があります。						
(7)成績評価の方法	授業中の課題や授業への参加意欲（ワークシート、発表資料、感想文など70点）、最終レポート（30点） 評価物は以下の観点で評価します。 〔1〕授業内容を理解できているか、適切な文献等から内容を正確に理解しているか 〔2〕文法的に正しく、読みやすい文章で書かれているか、論理的に文章が構成されているか 〔3〕内容が充実しているか 〔4〕自分の考えが述べられているか 〔5〕独創的な考えが含まれているか						
(8)成績評価の基準	授業の達成目標への達成度の水準に対して、総合的に評価します。 90点以上：秀(卓越している) 80点以上：優(かなり上にある) 70点以上：良(やや上にある) 60点以上：可(水準にある) 59点以下：不可(水準を満たさない)						
(9)事前事後学習の内容	・この授業は学修要件として90時間が必要とされています。そのため授業時間に加えて、理解を深めるために60時間以上の時間外学習が必要となります。日頃から積極的に環境問題に関する情報収集を行い、知識を深めてください。 ・個人やグループで行うワークや発表は、事前学習や事前準備が必要になります。しっかり取り組んだうえで授業に臨んでください。						
(10)履修上の注意	・この授業はグループワークを中心とした演習を行います。 ・この授業は全学横断特別教育プログラム「環境マインド実践人材養成コース」の認定科目（コア科目群）であるため、受講希望者が定員を上回った場合、環境コース受講希望者を優先することがあります。						
(11)質問、相談への対応	質問や相談は授業中あるいは授業後に受けます。対面、メールのどちらでも構いません。 直接、研究室を訪ねても構いませんが、外出していることがあるので、事前にメールで訪問日時を相談することを勧めます。 メール：hi.yahara@（@以下は大学から付与されるメールアドレスと同じ） 研究室：共通教育第1講義棟北校舎4階 グリーン社会協創機構プロジェクトスペース						
(12)授業への出席	すべての回に出席することを前提とします。 授業の出欠は基本的に出席確認システムにより確認します。着席登録ができなかった場合は、必ずその日の授業終了直後に担当教員に申し出てください。 欠席回数が6回以上になると、授業の達成目標に到達することができないため単位を認めることができません。						

(13)授業に出席できない場合の学修の補充	「学修の補充の対象とする事由」により出席できない場合は、共通教育履修案内に掲載されている方法により補充を受けるための申請を行ってください。
【教科書】	指定しません。
【参考書】	授業の中で紹介します。